

プログラム

高野 義隆 (新潟リハビリテーション病院 リハビリテーション科)
村山 拓也 (新潟リハビリテーション病院 リハビリテーション科)

平成29年3月10日 (金)

- 14:00 受付
- 15:00~16:00 **多職種連携セミナー【第1部】** 共催：中外製薬株式会社
「病院におけるリエゾンサービスの実践と課題」マネージャーとしての役割
 座長：平岡 峰子 (徳島大学病院 内視鏡センター)
二次骨折予防を目指して ～骨粗鬆症リエゾンサービス構築に向けて～
 演者：犬嶋 博美 (富山市民病院 整形外科病棟)
整形外科における骨粗鬆症マネージャーとしての役割 ～看護師の取り組み～
 演者：中梶 公子 (大阪府済生会吹田病院 看護部)
地域医療連携における骨粗鬆症マネージャーの役割 骨粗鬆症看護外来の実践と今後の課題
 演者：宮崎木の実 (聖隷佐倉市民病院 整形外科病棟)
病院におけるリエゾンサービスの実践と課題 新潟リハビリテーション病院編
 演者：星野 美和 (新潟リハビリテーション病院 地域連携室)
- 16:00~16:30 **多職種連携セミナー【第2部】**
「骨粗鬆症マネージャー 何ができるか？どこを目指すか？その成果と悩み」
 座長：星野 美和 (新潟リハビリテーション病院 地域連携室)
 加藤木丈英 (聖隷佐倉市民病院 リハビリテーション科)
地方都市における急性期病院での多職種連携～当院での取り組み報告
 演者：渥美 綾子 (呉共済病院 看護部)
ケア・ミックス型病院における骨粗鬆症リエゾンサービス ―骨粗鬆症マネージャー活動3年間の喜びと悩み―
 演者：都甲 昌子 (サンライズ酒井病院 看護部, 地域連携部)
当院 (ケアミックス病院) でのOLSから見えてきたもの
 演者：阿部 麗 (健愛記念病院)
私たちのリエゾンサービス
 演者：村山 拓也 (新潟リハビリテーション病院 リハビリテーション科)
- 16:30~17:30 **グループワーク**
病院における骨粗鬆症リエゾンサービスの構築に向けた障壁と挑戦
～病院でのリエゾンサービス構築のため何が必要か？
解決すべき課題とは何か？～
 進行：星野 美和 (新潟リハビリテーション病院 地域連携室)

- 17:30~17:40 **開会挨拶** 山本 智章 (新潟リハビリテーション病院 整形外科)
- 17:40~18:40 **イブニングセミナー1** 共催：第一三共株式会社
新潟県における大腿骨近位部骨折発生状況の推移と現在の取り組み
 座長：萩野 浩 (鳥取大学医学部基礎看護学科)
 演者：今井 教雄 (新潟大学大学院医歯学総合研究科 地域医療長寿学講座)
- 18:40~19:40 **イブニングセミナー2** 共催：武田薬品工業株式会社
大腿骨近位部骨折発生抑制のための薬物治療
 座長：遠藤 直人 (新潟大学大学院医歯学総合研究科 機能再建医学講座 整形外科学教室)
 演者：岩本 潤 (慶應義塾大学医学部 スポーツ医学総合センター)
- 20:00~ **情報交換会** (ホテルイタリア軒/サンマルコ3F)

平成29年3月11日 (土)

- 8:00 受付
- 8:25~8:30 **開会挨拶** 山本 智章 (新潟リハビリテーション病院 整形外科)
- 8:30~9:00 **共催セミナー1** 共催：日本イーライリリー株式会社
高齢者骨折の現状と対策～フォルトオ治療の新知見とBest Practiceへの貢献～
 座長：澤口 毅 (富山市民病院 整形外科・関節再建外科)
 演者：萩野 浩 (鳥取大学医学部保健学科)
- 9:00~9:30 **セミナー1**
大腿骨近位部骨折に対する手術のタイミングと抗凝固療法への対応
 座長：普久原朝海 (新潟大学医歯学総合病院 高次救命災害治療センター)
 演者：紙谷 義孝 (新潟大学地域医療教育センター 魚沼基幹病院 麻酔科)
- 9:30~10:00 **セミナー2**
米国ホスピタリストの経験から見たhip fracture 周術期管理
 座長：生越 章 (新潟大学地域医療教育センター 魚沼基幹病院 整形外科)

演者：石山 貴章（新潟大学地域医療教育センター 魚沼基幹病院 総合診療科）

10：00～10：10 休憩

10：10～11：10 **特別講演** 共催：新潟県骨粗鬆症骨折対策事業連絡協議会
（新潟大学大学院医歯学総合研究科 地域医療長寿学講座）

英国におけるNHFDの取り組み

National clinical audit - hip fracture as a model for the care of frail older People.

座長：寺本 民夫（帝京大学 臨床研究センター）

演者：Dr. Antony Johansen（University Hospital of Wales, Cardiff, UK）

11：10～11：40 **共催セミナー2** 共催：旭化成ファーマ株式会社
大腿骨近位部骨折を防ぐためのエビデンス -ゾレドロン酸年1回製剤の適応を考える-

座長：森 諭史（聖隷浜松病院 骨・関節外科）

演者：田中 伸哉（埼玉医科大学病院 整形外科・脊椎外科）

11：40～12：10 **共催セミナー3** 共催：メドトロニックソファモアダネック株式会社
骨粗鬆症性椎体骨折 保存治療成功の鍵と手術適応のポイント

座長：渡邊 慶（新潟大学医歯学総合病院 脊椎・脊髄外科）

演者：星野 雅俊（大阪市立大学大学院医学研究科 整形外科）

12：10～12：20 休憩

12：20～13：20 **ランチョンセミナー** 共催：KISCO
脆弱性骨折における大腿骨頸部・頸基部骨折に対する新しいインプラントの開発と臨床成績

座長：松下 隆（総合南東北病院 外傷センター、福島県立医科大学 外傷学講座）

演者：白濱 正博（久留米大学医学部 整形外科教室 骨折外傷担当）

13：20～13：30 **会長講演**
骨粗鬆症リエゾンサービスを考える
マネージャーを支えるサポーターの意義

座長：遠藤 直人（新潟大学大学院医歯学総合研究科 機能再建医学講座 整形外科学教室）

演者：山本 智章（新潟リハビリテーション病院 整形外科）

13：30～14：15 **共催セミナー4** 共催：HOYA Technosurgical 株式会社
大腿骨転子部骨折手術における内固定の選択と術中整復のコツ

座長：伊藤 雅之（会津中央病院 外傷再建センター）

演者：塩田 直史（岡山医療センター 整形外科）

14：15～16：35 **一般演題**（口頭発表）

1 「骨粗鬆症の疫学・リスク評価・治療」 座長：山崎 薫（磐田市立総合病院 整形外科）

1-1 地域在住中高齢者の筋量、筋力と血清ミオスタチンの年代差について

森脇 健太（鳥取大学医学部附属病院 整形外科）

1-2 骨粗鬆症の治療対象としてのCancer Survivors

本田 透（香川県立中央病院 リハビリテーション科）

1-3 大腿骨近位部骨折患者の息子（娘）には骨密度検査を勧めるべきである

菊池 直哉（県北医療センター高萩協同病院 整形外科、つくばセントラル病院 整形外科）

1-4 脆弱性大腿骨近位部骨折の発生において生活習慣病はどの程度関与しているか

岩倉 崇（兵庫県立淡路医療センター 整形外科）

1-5 日本人の骨折高リスク骨粗鬆症女性に対する骨粗鬆症治療薬の費用対効果分析

—アレンドロネートとデノスマブの比較—

吉沢 知宏（筑波大学医学医療系 整形外科）

2 「脆弱性骨折治療」 座長：普久原 朝海（新潟大学医歯学総合病院 高次救命災害治療センター）

2-1 長時間透析による低P血症の関与が疑われた脆弱性骨折の1例

脇 貴洋（明石医療センター 整形外科）

2-2 脆弱性足関節粉碎骨折に対するIlizarov創外固定+CELTAB法

野坂 光司（秋田大学大学院医学系研究科 医学専攻機能展開医学系整形外科講座 秋田イリザロフ法グループ）

2-3 骨折メカニズムを念頭に大腿骨転子部骨折の3D-CT・X線を読影する

佐藤 朗（新潟臨港病院 整形外科）

2-4 高齢者安定型大腿骨頸部骨折に対する骨接合術の治療成績

土井 武（岡山赤十字病院 整形外科）

3 「骨折2次予防」 座長：本田 透（香川県立中央病院 リハビリテーション科）

3-1 大腿骨近位部骨折患者に対する受傷前骨粗鬆症治療薬使用についての検討

田村 公一（国立病院機構岡山医療センター 整形外科）

3-2 当院における大腿骨近位部骨折患者の骨粗鬆症治療状況と今後の課題

玉岡 拓也（兵庫県立淡路医療センター 整形外科）

3-3 大腿骨近位部二次骨折予防のための骨粗鬆症治療介入の骨密度の感度と特異度の検討

寺元 秀文（呉共済病院 整形外科）

3-4 橈骨遠位端骨折症例に対する骨粗鬆症治療の必要性に関する検討

- 山崎 薫 (磐田市立総合病院 整形外科)
- 3-5 橈骨遠位端骨折の患者に対する二次骨折予防の取り組み
依田 拓也 (新潟大学地域医療教育センター・魚沼基幹病院 整形外科)
- 4 「地域連携・リエゾン」 座長：寺元 秀文 (呉共済病院 整形外科)
- 4-1 都市部における大腿骨近位部骨折パス導入後の骨粗鬆症治療継続に関する問題点
田中 瑞栄 (社会医療法人河北医療財団河北総合病院 整形外科)
- 4-2 当院における骨粗鬆症リエゾンサービスの取り組み
小林 沙織 (埼玉慈恵病院 医療相談室)
- 4-3 脆弱性骨折患者に対する病棟での骨粗鬆症リエゾンサービスの導入～多職種による介入～
十河 有里 (香川県立中央病院 看護部)
- 4-4 骨粗鬆症リエゾンサービス提供に至らなかった要因の検討
大野 礼子 (サンライズ酒井病院 看護部)
- 4-5 骨粗鬆症リエゾンサービスの退院指導における課題
大橋由香理 (埼玉慈恵病院 看護部)
- 5 「骨粗鬆症予防」 座長：酒井 祐一 (サンライズ酒井病院)
- 5-1 当院での骨粗鬆症予防看護外来の取り組み状況と今後の課題
庭田 真理 (新潟労災病院 整形外科)
- 5-2 東広島地区における骨粗鬆症に関する地域医療への取り組み
山中 祐二 (東広島医療センター 看護部)
- 5-3 骨粗鬆症による脆弱性骨折患者のカルシウム摂取量と外出時間の調査
江原 理恵 (埼玉慈恵病院 栄養科)
- 5-4 薬局薬剤師による骨粗鬆症の治療継続と早期発見へのアプローチの試み
市橋 直子 (はあとふる薬局)
- 5-5 クリニックは骨粗鬆症治療の拠点となれるか？
島垣 齋 (整形外科・皮膚科しまがきクリニック)
- 6 「リハビリ」 座長：小林 量作 (新潟医療福祉大学 医療技術学部 理学療法学科)
- 6-1 当院における橈骨遠位端骨折後の骨粗鬆症治療実施状況とリハビリテーションの検討
久保 匡史 (筑波大学附属病院 リハビリテーション部)
- 6-2 人工股関節全置換術後のバランス能力評価
萩野谷 歩 (筑波大学附属病院 リハビリテーション部)
- 6-3 当院における骨粗鬆症外来患者の運動継続に関する一考察
宮川 洋一 (重工記念長崎病院 リハビリテーション科)
- 6-4 転倒予防の運動を継続するための骨粗鬆症教室
吉永 裕策 (埼玉慈恵病院 リハビリテーション科)
- 6-5 椎体骨折パス患者における認知機能の検討
森口みどり (新潟リハビリテーション病院 言語聴覚科)

- 16:35～17:35 一般演題ポスター展示・自由討論・質疑
- 17:35～18:45 **ラウンドテーブルシンポジウム** FFN-J・運動器の10年日本協会合同企画
Hip fracture best practice へのアプローチ
座長：高橋 榮明 (新潟リハビリテーション病院 新潟骨の科学研究所)
三木 隆己 (泉大津市立病院)
- 「共通指標の共有化と見える化」～地域連携のための骨粗鬆症性骨折の治療と予防に関する共通指標の共有化と公開性～
演者：高橋 榮明 (新潟リハビリテーション病院 新潟骨の科学研究所)
- ①「大腿骨頸部骨折地域連携クリニカルパスの過去・現状・未来」
演者：伊藤 淳二 (青森県立中央病院 整形外科)
- ②「大腿骨近位部骨折診療ガイドラインからの提言」
－早期手術，周術期連携の重要性－
演者：澤口 毅 (富山市立富山市民病院 整形外科・関節再建外科)
- ③「大腿骨近位部骨折治療において骨粗鬆症リエゾンサービスが果たす役割」
演者：石橋 英明 (伊奈病院 整形外科)
- 18:45～19:00 **理事長講演**
日本におけるNHFDに向けて
National hip fracture database (NHFD) -Japan project
座長：山本 智章 (新潟リハビリテーション病院 整形外科)
演者：松下 隆 (総合南東北病院 外傷センター，福島県立医科大学 外傷学講座 NPO日本脆弱性骨折ネットワーク)
- 19:00～19:10 **閉会挨拶** 山本 智章 (新潟リハビリテーション病院 整形外科)
次期会長挨拶
森 論史 (聖隷浜松病院 骨・関節外科)
- 19:30～21:00 **全員懇親会** (ホテルイタリア軒／ゴンドリーナ12F)

平成29年3月12日（日） 会場：ホテルイタリア軒・5F・トリノ

8：00 受付

サテライト企画

8：30～9：00 **モーニングセミナー** 共催：日本イーライリリー株式会社
クリニックにおけるOLSの実践とフォルト導入と継続のコツ
座長：三木 隆己（泉大津市立病院）
演者：鶴上 浩（鶴上整形外科リウマチ科）

9：00～9：30 **共催セミナー5** 共催：日本イーライリリー株式会社
外来診療における骨粗鬆症リエゾンの成功の道筋
共催：日本イーライリリー株式会社
座長：田中 瑞栄（河北総合病院 整形外科）
クリニックでもここまでできる骨粗鬆症リエゾンサービス
演者：吉田美奈子（整形外科・皮膚科しまがきクリニック）
当院外来における骨粗鬆症リエゾンサービスの取り組み
演者：横堀 由美（新潟リハビリテーション病院 外来）
骨粗鬆症治療継続率アップのための当院の取り組み
演者：天下井 恵（上石クリニック）

9：30～10：30 **グループワーク**
外来クリニックにおけるマネージャーの役割
～治療継続のための工夫～
進行：星野 美和（新潟リハビリテーション病院 地域連携室）

参加者へのお知らせ

1. 受付：3月10日（金）午後14時00分～ / 新潟市民プラザ・NEXT21ビル 6F
3月11日（土）午前8時00分～ / 新潟市民プラザ・NEXT21ビル 6F
3月12日（日）午前8時00分～ / ホテルイタリア軒・5F・トリノ
受付にて参加申込書に都道府県名・所属・氏名をご記入いただき、参加費（医師5,000円、コメディカル3,000円）を添えてお申し込みください。受付にてお渡ししました参加証はご記名の上、会場内では必ずご着用ください。
2. 修了証：受付にてお渡しいたします。
3. クローク：学会期間中開設いたします。なお、貴重品はお預かりできませんので、各自で管理をお願いいたします。3月10日、11日の新潟市民プラザに於いては、スペースの都合上、お預かりできない場合もございますので、予めご了承ください。
4. 昼食：ランチョンセミナー又は会場近辺の飲食店をご利用ください。
5. 喫煙：新潟市民プラザ施設内は禁煙です。
6. ドリンクサービス：新潟市民プラザ会場ではロビーにドリンクサービスコーナーを設置いたします。また館内には自動販売機もございます。
休憩所：NEXT21ビルの19Fに、日本海が一望できる展望ラウンジがあります。ぜひ、一目ご覧ください！
7. 携帯電話・スマートフォンについて：会場内での使用はご遠慮ください。会場内では電源をお切りになるか、マナーモードに設定してください。また、その他の電子機器（PC、タブレット端末、DVD等）についても、会場内では音声オフ、ディスプレイの明るさを落としてご使用ください。皆様のモラルとご協力に感謝いたします。
8. 写真撮影・ビデオ撮影について：会場内では許可なく写真撮影・ビデオ撮影（録画）、録音はできません。
9. 駐車場について：新潟市民プラザ専用の駐車場はありません。公共の交通機関をご利用いただくか、周辺の有料駐車場などをご利用ください。

演者の先生方へ

■講演発表について

- 1) 指定演題・共催セミナーの講演時間は、座長の指示に従ってください。
- 2) 一般講演は、発表4分です。＊時間厳守での発表をお願いいたします。
- 3) 一般講演発表は、PowerPointによるPC発表とポスターパネルへの掲示の両方を行っていただきます。
※一般講演演者は講演用スライドとポスター掲示用プリントの両方をご準備ください。
質疑や討論はポスター閲覧時間内に自由討論方式でおこないます。
- 4) 発表用スライドにて利益相反状態の開示を行ってください。記載方法詳細は大会ホームページにてご確認ください。

- 5) 発表者は、セミナー開始の30分前までにPC席にデータをご提出ください。
- 6) セッション開始10分前に演者は会場内前方の次演者席に、ご着席下さい。次演者は前演者の登壇と同時に次演者席に、ご着席下さい。
- 7) PC操作については、舞台上に液晶モニタ、キーボード、マウスをセットいたしますので、ページ送りはご自身で行って下さい。PC本体持ち込みの場合も同様です。
- 8) タブレット端末を用いての発表をご遠慮下さい。
- 9) ポスター展示（自由討論）について 3月11日：16：35～17：35

●演者は、討論時間になりましたら、各自のポスターパネル前にて待機してください。
講演データに基づき自由討論を行ってください。

・ポスターパネルサイズ：縦210cm、幅90cm（図参照）

▶演題番号は事務局で準備いたします。

※演題名・所属・演者名はご自身でご用意ください。

・上記サイズに収まる大きさのものであれば、様式は問いません。

※講演時にお使いのPower Pointのデータを出力したものを掲示いただいても結構です。

※掲示用データはご自分でお持ちください。

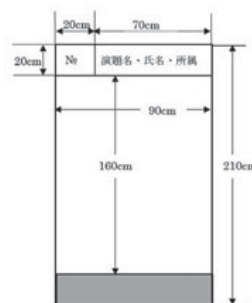
会場でのプリントアウトは対応しておりません。

・貼付のための画鋏は事務局にてご用意いたします。

・ポスターパネルへの掲示は3月10日（金）14:00から可能です。

但し、講演時間中の貼付け作業はご遠慮願います。

・ポスターの撤去は各自の責任で行ってください。撤去時間後、引き取りのないポスターは、事務局で処分させていただきますので、予めご了承ください。



■発表データ受けについて

- 1) 発表データをUSBまたはCDへ保存した後、事前に別のパソコンにコピーして正常に動作することをご確認ください。
- 2) 受付されたデータはPC内に保存させていただき、USB・CDはその場で返却致します。PC内にコピーした発表データは、発表終了後学会事務局で責任を持って削除致します。
- 3) 発表前のファイル名は「演題番号+氏名」としてください。
(例：S1-1_岡山太郎.ppt, O-1-1_新潟花子.ppt)
- 4) USBメモリまたはCDには発表データのみを保存してご持参ください。
- 5) 事務局で用意するパソコンのOSは、Windows 7です。
プレゼンテーションソフトは、Microsoft PowerPoint 2007, 2010, 2013をご用意します。
他のWindowsのバージョンやMacintoshで作成された場合は、必ず上記環境で動作確認済のデータをお持ちください。
- 6) 文字フォントはOSに設定されている標準的なフォントをご使用ください。
特殊なフォントの場合、表示のずれ、文字化けが生じることがありますのでご注意ください。

[推奨フォント] 日本語：MSゴシック, MSPゴシック, MS明朝, MSP明朝

英語：Arial, Times New Roman

- 7) お持ち込みデータによるウイルス感染の事例がありますので、最新のウイルス駆除ソフトでチェックを行ってください。

■動画持ち込み、またはMacintoshをご使用の方へ

- 1) 動画持ち込みの場合、またはMacintoshをご使用の場合にはご自身のパソコンをご持参ください。画像の解像度はXGA (1024×768) です。このサイズより大きい場合、スライドの周囲が切れたり、映らない場合がありますので、そのサイズ以外の解像度の使用はお控えください。お持ちいただくパソコンの機種、OS及びアプリケーションソフトの種類は問いません。
- 2) 会場のプロジェクターへは一般的な外部出力端子（D-sub15ピン）での接続となります。Macintoshや小型パソコンではRGB変換コネクタを必要とする機種がありますので、D-sub15ピンへの変換コネクタを忘れずにご持参ください。ACアダプターを必ずご持参ください。また、念のためUSBメモリにてバックアップデータをご持参ください。
- 3) 動画は可能ですが、本体の液晶画面に動画が表示されてもPCの外部出力に接続した画面に表示されない場合があります。必ず実際に使用するPCの外部出力にモニターまたはプロジェクターを接続してご確認ください。
- 4) スクリーンセーバーならびに省電力設定・パスワード設定は事前に解除しておいてください。
- 5) 発表30分前までに、発表会場の前方のPCオペレーター卓までご自身でお持ち下さい。
- 6) 発表終了後、オペレーター卓でPCを返却いたしますので、お立ち寄り下さい。
- 7) PCのトラブルによる映像の投影が不可能となっても、事務局では責任を負いかねます。

座長の先生方へ

1. ご担当セッションの開始15分前までに講演会場内「次座長席」にご着席ください。
2. 発表時間、討論時間を厳守し、円滑な運営にご協力をお願いいたします。
3. 演者の紹介はお名前と所属のみをお願いいたします。

発言者へのお知らせ

1. 質問は簡潔をお願いいたします。スライドの使用はできません。
2. 発言者はマイクの前に並んでお待ちください。
3. 一般演題への質疑はポスター展示前をお願いいたします。

教育研修単位をご希望の方へ

■日時 平成29年3月10日(金)～12日(日)

■会場 新潟市民プラザ(NEXT21 6F) ※12日(日)の会場は、ホテルイタリア軒5F「トリノ」となります

	時間	内容	単位申請			
			日本整形 外科学会	日本骨粗鬆症学会 認定医 マネージャー	日本理学 療法士協会	日本作業 療法士協会
3月10日 (金)	15:00～ 16:00	第1部 多職種連携セミナー 共催：中外製薬株式会社 〔病院におけるリエゾンサービスの実際と課題～マネージャーとしての役割～〕				
	16:00～ 16:30	第2部 多職種連携セミナー 「骨粗鬆症マネージャー 何が出来るか?どこを目指すか?その成果と悩み」				
	16:30～ 17:30	グループワーク 「病院における骨粗鬆症リエゾンサービスの構築に向けた障壁と挑戦」 「病院でのリエゾンサービス構築のため何が必要か?解決すべき課題とは何か?」				
	17:40～ 18:40	イブニングセミナー1 共催：第一三共株式会社 「新潟県における大腿骨近位部骨折発生状況と現在の取り組み」	[4]			
	18:40～ 19:40	イブニングセミナー2 共催：武田薬品工業株式会社 「大腿骨近位部骨折発生抑制のための薬物治療」	[4][1]			
20:00～ 21:30	情報交換会(ホテルイタリア軒 大宴会場 サンマルコ)					
3月11日 (土)	8:30～ 9:00	共催セミナー1 共催：日本イーライリリー株式会社 「高齢者骨折の現状と対策～フォルトテオ治療の新知見と Best Practice への貢献～」				
	9:00～ 9:30	セミナー1 「大腿骨近位部骨折に対する手術のタイミングと抗凝固療法への対応」	[2]			
	9:30～ 10:00	セミナー2 「米国ホスピタリストの経験から見たhip fracture 周術期管理」	[11]			
	10:10～ 11:10	特別講演 共催：新潟県骨粗鬆症骨折対策推進協議会(新潟大学医 歯学総合研究所・地域医療長寿学講座) 「NHFDの取り組み Global FFDからの報告と方向性」				
	11:10～ 11:40	共催セミナー2 共催：旭化成ファーマ株式会社 「大腿骨近位部骨折を防ぐためのエビデンス/フレドロン酸年1回製剤の適 応を考える」	[4]			
	11:40～ 12:10	共催セミナー3 共催：メドトロニックソファモアダネック株式 会社 「骨粗鬆症性椎体骨折 保存治療成功の鍵と手術適応のポイント」	[7]			
	12:20～ 13:20	ランチョンセミナー 共催：KISCO 株式会社 「脆弱性骨折における大腿骨頸部・頸骨部骨折に対する新しいインプラント の開発と臨床成績」	[2]			
	13:20～ 13:30	会長講演 「骨粗鬆症リエゾンサービスを考える マネージャーを支えるサポーターの意義」		5単位	3単位	参加 10ポイント
	13:30～ 14:15	共催セミナー4 共催：HOYA Technosurgical 株式会社 「大腿骨転子部骨折手術における内固定の選択と術中修復のコツ」				参加 2ポイント
	14:15～ 16:35	一般演題 ①骨粗鬆症の疫学・リスク評価・治療 ②脆弱性骨折治療 ③骨折2次予防 ④地域連携・リエゾン ⑤骨粗鬆症予防 ⑥リハビリ				演題発表 5ポイント
	16:35～ 17:35	一般演題ポスター展示・自由討論・質疑				発表 1ポイント
	ラウンドテーブルシンポジウム FFN-J・運動器の10年日本協会 合同企画 「Hip fracture best practiceへのアプローチ」 ・大腿骨近位部骨折の治療と予防に関する共通指標の共有化と見える化 →日英の比較による一次および二次骨折ゼロを目指す戦略 ・地域連携クニカルパスの過去・現状・未来 ・大腿骨近位部骨折治療において骨粗鬆症リエゾンサービスが果たす役割 ・大腿骨近位部骨折診療ガイドラインからの提言 -早期手術、周術期連携 の重要性-					
	18:45～ 19:00	日本におけるNHFDに向けて National hip fracture database (NHFD) -Japan project				
19:00～ 19:10	閉会挨拶、次期会長挨拶					
19:30～ 21:00	全員懇親会(ホテルイタリア軒 12F ゴンドリーナ)					
3月12日 (日) (※会場ホテル イタリア軒)	8:30～ 9:00	モーニングセミナー 共催：日本イーライリリー株式会社 「クニニクにおけるOLSの実際とフォルトテオ導入と継続のコツ」				
	9:00～ 9:30	共催セミナー5 共催：日本イーライリリー株式会社 「外来診療における骨粗鬆症リエゾンの成功の道筋」				
	9:30～ 10:30	グループワーク 「外来クリニックにおけるマネージャーの役割」患者さんの求めるもの				

1. 日本整形外科学会教育研修単位

- (1)本学会のイブニングセミナー1、2, セミナー1、2, 共催セミナー2、3, ランチョンセミナー
には日本整形外科学会教育研修単位が認められています。
(2)受講数に制限はございませんが、専門医(資格継続用), 研修医(専門医申請用)ともに1日
に取得できる単位は4単位, 会期中最大6単位までです。

申込方法

単位受付にて受講料(1講演1,000円)を添えてお申し込みください。なお, 平成27年1月より開始され
た単位のデジタル化に伴い, 単位の取得にはIC会員カードが必要となりますので, 必ずお持ちください。

- *講演日当日のみの受付とさせていただきます。
- *受講料の払い戻しはいたしませんのでご注意ください。
- *教育研修講演受講のみで入場される場合も, 学会参加費は必要です。
- *学会参加者で単位を必要としない方の聴講は自由です。

なお, 研修医の方もICカードでの単位取得になります。「研修手帳」の押印欄に, 本人で
「ホームページ参照」とご記入ください。研修手帳への受講証明印の押印は, 単位取得の
デジタル化により廃止いたしました。演題名を含む受講記録が, 公益社団法人日本整形外
科学会ホームページの会員専用画面の専門医制度取得単位紹介に, 学会終了2週間後から
表示されます。未専門医の方は, 専門医申請の際には, ご自身の単位取得履歴一覧をプ
リントアウトして他の必要書類と一緒にご提出ください。

講演会場での手続き

講演開始10分前から, 講演開始後10分までにIC会員カードまたは仮IC会員カードを講演会場
入口のカード読み取り機にかざして出席登録を行ってください。10分を過ぎた場合, 受講手続き
が完了していない場合は, 途中退場された場合には単位取得はできませんのでご注意ください。

研修単位受講履歴について(整形外科専門医の先生方へ)

学術集会終了から2週間程度で単位が反映されます。日整会会員専用ページの「専門医制度取
得単位照会の単位振替システム」にて単位取得状況をお確かめください。取得した単位で, 複数
の必須分野等が認定されている場合, 自動的に小さな方の分類番号として登録されます。

例) N1, N3, Rが認定されている場合, 自動的にN1になります。

*N3やRの単位として登録したい場合は, 後日, 公益社団法人日本整形外科学会のホームペ
ージより「単位振替システム」を使って変更してください。

なお, 受講された単位が「取得可能単位数」を超過した場合や同一時間帯での複数受講記録が
ある場合は過誤データとなりますので, 「単位振替システム」にて超過分などの削除を行ってくだ
さい。3か月以内にご自身で訂正されなかった場合には一定のルールに従って, 機械的に削除さ
れますのでご注意ください。

2. 日本理学療法士協会

本会は, 日本理学療法士協会におけるポイント認証について, 他団体主催の学会としてのポ
イント加算が可能です。

申込方法

単位受付にて受講証を発行します。

参加者は下記を参照の上、日本理学療法士協会にポイント申請を行ってください。

<http://www.japanpt.or.jp/members/lifelonglearning/system/correction/>

3. 日本作業療法士協会

本会は、日本作業療法士協生涯教育制度基礎ポイント対象学会として認められています。

申込方法

単位受付にて受講証を発行します。後日、日本作業療法士協会へポイント申請をお願いします。

4. 日本骨粗鬆症学会

本会は、日本骨粗鬆症学会の単位取得講演会として、認定医は5単位（認定番号：N17016）、マネージャーは3単位（認定番号：170022）として単位が認められています。

申込方法

単位受付にて必要事項を記入の上お申し込みいただき、受講証をお受け取りください。

企業展示

日時：平成29年3月10日（金）15：00～19：30

平成29年3月11日（土）8：30～19：00

場所：新潟市民プラザ ロビー（特設会場）

各種会合のご案内

【日本骨折治療学会理事会】

日時：平成29年3月10日（金）15：00～17：00

場所：ホテルイタリア軒 11F 会議室「ベネツィア」

【NPO法人日本脆弱性骨折ネットワーク】

・理事会

日時：平成29年3月11日（土）7：00～7：50

場所：ホテルイタリア軒 4F「柳の間」

・総会

日時：平成29年3月11日（土）7：50～8：10

場所：ホテルイタリア軒 4F「柳の間」

次回開催のご案内

日時：平成30年3月2日（金）、3日（土）

開催地：アクトシティ浜松 コンgressセンター

会場へのアクセス

●JR新潟駅より

・バス（10分）

JR新潟駅万代口（北口）駅前バスターミナルより、萬代橋ライン、浜浦町線、信濃町線、鳥屋野線、有明線、西小針線で「古町」バス停下車 → いずれも「古町」下車で正面（徒歩1分）

・タクシー（5分）：新潟駅万代口タクシー乗り場より乗車

●新潟空港より

・バス

新潟駅行きバスで新潟駅下車（20分）→ 万代口バスターミナルより上記バスに乗り換え

・タクシー（20分）

●自家用車でお越しの方へ

会場周辺には有料駐車場が複数ヶ所ありますが、学会としての駐車券の発行等はいたしませんのでご了承下さい。

